

MICROSAVI640

航空機 (UAV) + 地上



クライオクーラー冷却、小さなフォームファクター、
ハイパースペクトル対応 VIS (可視) ~ SWIR (短波赤外) 撮像装置 (イメージャ)

空中&地上用ポータブル ハイパースペクトル マイクロ-VIS (可視) ~
SWIR (短波赤外) 撮像装置

ポータブル空中/地上 ハイパースペクトル
VIS (可視) ~ SWIR (短波赤外) 撮像装置 (イメージャ)

0.4~2.5 μ m のスペクトルカバー範囲

40° FOV (視野)

640 空間イメージングピクセル

256 スペクトルチャンネル

クライオ冷凍機による冷却

カスタム製、高スループット Fore-Optics

(フォア옵ティクス)

MCT(HgCdTe) 検出器

光学 MEMS-慣性系

オプションでのリアルタイム処理

容易な LiDAR 統合

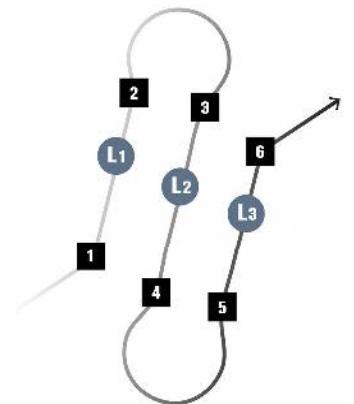
ラジオ周波数 (R/F) リンク (送受信/中継機) を介し
たりモート操作あるいは、通過点を用いた自律走行

外部デバイスへの高精度データタイムスタンプ

API 利用可能



R/F リンクによる制御



あるいは通過点

itres

ハイパースペクトル & サーマルリモートセンシング

microSAVI640

小さなフォームファクター、ハイパースペクトル、
単一検出器 VIS（可視）～ SWIR（短波赤外）撮像装置（イメージャ）

外来生物種/光学的水質/サンゴ礁/湿地帯/森林地帯/農業/変化検出/ターゲット検出と合成物質/植生分類/
地質学的調査/植生種分化/水中汚染の有無/共同溝/鉱物組成

カスタム光学系を用いた単一検出器アレイ全体に亘る可視近赤外(VNIR)から短波赤外(SWIR)のカバー範囲。

特長：

- 両方(VNIR,SWIR)のスペクトル領域にわたって一貫した空間分解能と画像点群データ幅
- 個別のアレイと光学システムを使用するシステムよりも緊密なスペクトル coregistration -改善されたスペクトル分析
- 容易な取り付け方法

性能：

スペクトル範囲 0.4-2.5 μ
(連続的な適用範囲)
スペクトルチャンネル数 256
冷却システム クライオ冷凍機
クロストラックピクセル数 640
全視野 40°
f/# f/2.5
スペクトル幅 8.2nm (平均)
サンプリング/Row (行)
スペクトル解像度(FWHM) <10nm
ダイナミック レンジ 14-bits
検出器飽和容量 (フルウェル)
>1 Me
最大フレーム速度、フルサイズ
>90fps

アイテム	W / H / D (CM) / WT. (KG)
SHU、制御部、記録部	26.7 / 22.9 / 15.2 / <5kg ¹
消費電力量	70W ¹
SHU:理学機器制御ユニット (Science-instruments Handling Unit)	¹ 変更される可能性があります
オペレーション	
オペレータ	ラップトップと既存のR/F downlinkを介したリモート制御あるいは事前プログラムされた経路と通過点
マルチセンサーの操作	
	MuSIC システムを介して最大5つのITRES 撮像装置 (イメージャ) を同時に操作可能

データ処理システム

- Linux あるいは Windows ベースの処理ソフト
- 再生用ソフトウェア(Quicklook)
- ENVI 互換の 16-32 ビット BIP 形式データを生成(BIL、BSQ フォーマットも可能)
- リアルタイムの放射量 (ラジオメトリック) 校正と機内の熱異常検出 (オプション)

ジオコレクション (幾何補正) システム

- GNSS-慣性系あるいは MEMS-慣性系の統合 (オプション)
- データ同期 (GPS、姿勢、および画像ストリーム、INS を使用の場合)

幾何補正/オルソ補正/モザイク化ソフトウェア

- LiDAR、インターフェロメトリック SAR、USGS DEM 入力を受け入れ
- 最近接アルゴリズムを使用—放射量 (ラジオメトリック) 校正の忠実性を維持

インターフェース、タイムスタンプ、リモート操作&制御

- GigE あるいは USB-3
- 通過点トリガー用 TTL 入力
- 事前定義された座標に対する自動制御 (MEMS 慣性系が必要 (.shp, .kml, 等の受入れ可))
- 外部デバイスへの高精度タイムスタンプ
- API 利用可能

寸法はインチ単位です
公差:
分数±1/32
角度:±.5°
小数点第二位: .01
小数点第三位: .005
表面仕上げ: 6.3 以内

